

ふくしまジュニアチャレンジ グランプリ



只見中

菊地夏帆さん (松長小 5年)
菊地春花さん (松長小 3年)
若 松

新型コロナウイルスなど想定外の事態とどう向き合い、地域を元気にするかをテーマに募集した。福島民報社の「第二回小学生まちづくり大賞(ふくしまジュニアチャレンジ)」の受賞者が決まった。最高賞のグランプリには、会津漆器をテーマにアウトに利用し、伝統産業の振興につなげるアイデアを提案した会津若松市の菊地夏帆(かほ)さん(松長小5年)、春花(はるか)さん(松長小3年)の姉妹、新聞紙のレジ袋活用で商店街活性化を目指す只見町の只見中代表・角田愛莉(あいり)さんが選ばれた。(7面に講評、7・9面に受賞者・団体紹介、28・29面に関連記事)



只見中・角田愛莉さん

菊地春花さん 菊地夏帆さん

地域をより良くする活動、アイデアの二部門で募集した第一回の百三十三件(活動部門三十四件、アイデア部門九十九件)を百四十八件上回る二百八十一件の応募が県内全域から寄せられた。受賞者は「表」の通りで、グランプリ二件、福島民報社賞三件、金賞五件、銀賞十一件、銅賞二十六件の計四十七件が受賞した。

菊地さん姉妹は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、飲食店のテークアウトが増えていることに着目。会津漆器を容器として繰り返し活用し、ごみの減量化と地域産業の活性化につなげる取り組み、地

域農業を盛り上げるアイデアなど多彩な提案が寄せられた。前川直哉(ふくしま学びのネットワーク理事・事務局)を審査委員長に、県、県教委などの代表の審査委員が独創性や実現可能性などを評価した。

2月、福島で表彰式

表彰式は来年二月七日、新型コロナウイルス対策のため出席者を絞り、福島市で実施する予定。

【ふくしまジュニアチャレンジ】

- ▶主催＝福島民報社
- ▶後援＝県、県教委、県私立中学高等学校協会、ふくしま学びのネットワーク、県市長会、県町村会、県商工会議所連合会、県商工会連合会、J A福島五連、県森林・林業・緑化協会、県漁連、県発明協会、県観光物産交流協会

【審査委員】

- ▶審査委員長＝前川直哉(ふくしま学びのネットワーク理事・事務局)
- ▶審査委員＝安藤靖雄(県地域振興課長) 高瀬智美(県教育庁教育総務課長) 武藤浩之(桜の聖母学院小校長、県私立中学高等学校協会推薦) 馬場憲明(福島民報社常務)

グランプリ

菊地夏帆(松長小5年)・春花(松長小3年) (会津若松)

只見中 (只見)

福島民報社賞

栗田小 (田村)

関本創(高田小6年)・想(会津若松ザベリオ学園小1年) (会津美里)

ふくしまにぎわいうぽ(やさしさLink) (福島)

金賞

福田小5年シャモチーム (川俣)

長谷川慶佑(福島大付属小4年) (福島)

熱海小6年 (郡山)

葛尾中 (葛尾)

堂島小6年 (喜多方)

銀賞

渡部響子(東中2年) (猪苗代)

福田小5年駒ザクラチーム (川俣)

好間一小保健委員会 (いわき)

月館学園中 (伊達)

ふたば未来学園中情報科学部 (広野)

桜の聖母学院小福もも組 (福島)

桜の聖母学院小サクラ6 (福島)

ふくしまにぎわいうぽ(ジュニアドローンTeam) (福島)

高坂小 (いわき)

芦沢小6年 (田村)

岩淵葵子(城西小5年) (会津若松)

銅賞

たちばな学童保育 (郡山)

鈴木洋香(飯豊小1年) (相馬)

吉田結花(郡山二中2年) (郡山)

玉井小5年 (大玉)

石井登乃佳(熊町小6年) (大熊)

桜の聖母学院小SAKURA SPORTS (福島)

桜の聖母学院小cherryblossom (福島)

桜の聖母学院小空色マフラー (福島)

荒川ひかり(日新小6年) (会津若松)

都路小4～6年 (田村)

エクスプレッションD.S. (いわき)

野崎結生(鮫川中1年) (鮫川)

原町二中アメリカ旗班 (南相馬)

原町二中しあわせ (南相馬)

原町二中のま隊 (南相馬)

原町二中サンドアート (南相馬)

石川義塾中佐川グループ (石川)

目黒陽香(城西小5年) (会津若松)

連藤壮真(城西小5年) (会津若松)

渡部晃誠(城西小5年) (会津若松)

渡部夏帆(城西小5年) (会津若松)

山越真子(城西小5年) (会津若松)

原田莉央(城西小5年) (会津若松)

星明花(城西小5年) (会津若松)

倉橋琉来(城西小5年) (会津若松)

長谷川書和(城西小5年) (会津若松)

※敬称略、各賞ともエントリー順